

文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成支援（コンテンツ制作・発信を支える中核的専門人材育成・確保等）

団体名	一般社団法人カルチャー アンド エンタテインメント産業振興会(CEIPA)
プロジェクト名	ポピュラー音楽産業における中核的専門人材（海外で活躍しうるグローバルプロデューサー）育成プロジェクト

基本情報

対象分野	音楽	対象となる職種	音楽プロデューサー等
------	----	---------	------------

プロジェクトの概要（案）

- ・国内ポピュラー音楽産業はグローバル展開が拡大する一方、次世代のプロデューサー型人材の育成は属人的で、再現性のある仕組みが未確立
- ・国内主要音楽6団体（RIAJ・JAME・FMPJ・ACPC・MPA・JASRAC）を会員社とするCEIPAが、産業界主導で育成カリキュラムを編成
- ・「①次世代グローバル音楽プロデューサー候補」と「②産学連携コーディネーター型実務指導員」の2コースを体系的に整備
- ・現役の音楽産業人による指導と国内外でのOJTにより、再現性のある育成モデルを確立

具体的な人材ニーズ、またはニーズが生じる見込み



- ・産業構造のフラグメント化により、個社単独では育成コストを負担しにくく、グローバル対応の即戦力人材が不足
- ・国内主要6団体へのヒアリングでは、今後5年間で数百名規模の中核的専門人材の確保が必要

- ・短期：3年間で業界就業100名以上、指導員10名以上を育成
- ・中期：指導員層の拡充と育成エコシステムの構築により、人材不足の解消に貢献

期待される成果や波及効果

- ・海外で通用する次世代グローバル音楽プロデューサー人材の確保
- ・暗黙知を形式知化した再現可能な育成プログラムと、産学連携型の指導員体制の確立
- ・3年間で業界就業100名以上、指導員10名以上を育成し、連携機関を拡大
- ・日本の音楽産業の海外展開を加速し、国際的プレゼンスと産業の持続的成長に貢献

人材の育成・確保のための持続的な基盤の構築イメージ

- ・国内主要音楽6団体全体の枠組みで、産業横断的な育成基盤を形成
- ・業界合同就職イベントの開催により、直接的な就業機会を創出
- ・将来的な独自の育成機関の設立も見据えた、自立的な育成エコシステムの構築



